

プログラム名 (40字以内)	保育園やこども園、自治体の子育て支援の取り組みについて知ろう		
団体名/所属	大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	5人程度	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	教育学部の集中講義「発達保育実践政策学概論」の履修と合わせて本プログラムにご参加いただくとより有意義な現地訪問となりますので、受講をご検討ください。(必須ではありません)		
活動期間	2026/8月～9月	主な活動予定場所	渋谷保育園、まちのこども園(代々木上原もしくは代々木公園)、coしぶや
プログラム実施の目的	我が国の保育・幼児教育ならびに子育てに関する制度政策・実践について、実践現場の視察を通して理解を得ること。		
具体的な内容(800字程度)	<p>本企画は、近い将来、多様な領域を牽引する存在となる東京大学の学生が、少子化対策や保育の質の向上といった我が国における最重要の社会課題に対し、自治体等が行っている取組について理解を深め、見聞を広げることを目的として実施するものである。あわせて、将来、子育ての当事者や支援者となった際に必要となる、保育・幼児教育施設および子育て支援に関する基礎的な知識を身につける機会とする。</p> <p>活動内容・スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔合わせ・説明会(オンライン、1時間程度) ・事前学習 「発達保育実践政策学概論」を履修、もしくは指定された録画教材を視聴する。 施設見学当日までに、自分が注目したい点についてまとめる。 ・視察 渋谷保育園、まちのこども園(代々木上原もしくは代々木公園)、coしぶやを訪問する。 ※各施設の視察日は別日となる可能性がある。最大3日間(連続とは限らない)。 ※視察日程については、施設の都合を最優先としつつ、可能な範囲で参加者の都合も踏まえて調整する。 ・事後課題 活動後、報告書(感想文、A4・1枚程度)を提出する。 ※提出された報告書は、各施設へのフィードバックとして提供する。 		
【総額】参加するための費用	なし		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	なし		
【内訳】参加するための費用(交通費)	自宅から施設まで、および施設間移動のための往復交通運賃(電車、バス代) 1,000円程度		
【内訳】参加するための費用(その他)	なし		
奨励金額(予定)	0円		
備考	<p>視察時の服装は私服です(清潔感があり、露出度の低いものであればそれ以外は自由)。 施設見学時には靴下を着用してください。 ☆参加希望者へのご案内 8月に教育学部の集中講義「発達保育実践政策学概論」が設定される予定です。 事前学習として視聴していただく動画教材は、この集中講義の中から指定します。 集中講義の履修と併せて本プログラムにご参加いただくと、より有意義な現地訪問になると思いますので、受講をご検討いただければと思います。 なお、一部講座のみの聴講も可能です。その場合は事前にご相談ください。</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		